

さつきだより



- 株式会社アミックビジネスコンサルティング
- 税理士法人アミック&パートナーズ
- 社会保険労務士法人アミック人事サポート
- 株式会社アミック総研
- アミック行政書士事務所

〒321-0151 栃木県宇都宮市西川田町928-1 TEL:028-908-4411 FAX:028-645-1000

『リスキリング』

政府の「経済財政運営と改革の基本方針2023」(骨太の方針)の原案によると、新しい資本主義に向けて「人への投資」を打ち出している。「リスキリングによる能力向上支援」として在職者への学びなおし支援策や教育訓練給付の拡充などが検討されている。さらに「職務給の導入」に向けた評価方法、リスキリングの方法、賃金制度、労働条件の変更などが期待されている。労働者の環境が大きく変わる予感すら感じられる。

先日、雑誌で気になる記事を読んだ。『世界一、働く大人の学ぶ習慣がない国・日本』。ビックリする内容であった。多くの職場でリスキリングの必要性が議論され、政府もしきりに喧伝している。にも拘わらず衝撃的なデータがある。「グローバル就業実態・成長意識調査2022年」によると、日本人の「何もやっていない」人の割合は、52.6%で断トツの世界1位である。2位オーストラリア28.6%、3位スウェーデン28.1%、4位イギリス24.1%であり、平均値は18%だ。日本人には世界でも群を抜いて学ぶ習慣が無い。

なぜ、日本人は学ばないのか？ どうやら日本のキャリアや雇用制度に問題があるようだ。「キャリアは運次第」という感覚で、雇用されれば配置や、異動、場合によっては居住地までも全て企業に決定権がある。更に年功序列など課題は多くある。キャリアの中盤までは問題ないようだが、40歳代以降からが問題だ。手持ちのスキルは陳腐化し、専門性は中途半端、昇給昇進も天井が見えてくる。50歳代になって慌てても、時すでに遅し。そうならぬよう準備が必要だ。我が国の場合は、働くことや学びについて「個の意志」を発芽させるような仕組みも必要だ。

弊社では、社員の成長の仕組みづくりのため、社内木鶏会の実施、創造経営教室への参加、TKCの資格試験合格への取り組みを強制している。近い将来、自ら積極的に学ぶ集団に変わるよう社員には期待している。社員の成長が会社のイノベーションを生むきっかけにもなる。

税理士法人 アミック&パートナーズ 代表社員 谷中田 悟

「私のおすすめ」

『レクイエムの名手』 菊地成孔著 亜紀書房

著者はジャズを中心とした音楽活動で著名な方ですが、旺盛な文筆活動でも知られています。

マイルス・デイヴィスや忌野清志郎などの音楽家だけでなく、レヴィ・ストロースなどの哲学者、植木等などの芸能人など、幅広い分野の著名人の逝去に際して追悼を綴った文章を読んで、個人的に昨年の不幸が和らいだ気分になりました。

(文：田村)

当社サイトでは税制改正や各種セミナー情報、職員ブログ等の様々なコンテンツを取りそろえております。

<https://www.amic-amg.co.jp>もしくは、右QRコードより是非ご覧ください！！



8
月号